

# 知識は 旅をする

千葉県立東部図書館だより  
2026年2月  
第85号



『浅倉一代記 通天』 一勇斎 国芳／画  
出典：「菜の花ライブラリー」千葉県デジタルアーカイブ

## 電子書籍が増えました

スマートフォンやタブレット等で、どこでも好きなときに読むことのできる電子書籍。県立図書館では、今年度約760冊の書籍が増え、5,600冊が読めるようになりました。

電子書籍には、文字拡大や音声読み上げ機能などがついています(書籍によっては、ついていないものもあります。)

また、3月頃に県立図書館ホームページの「蔵書検索」でも、電子書籍の検索ができるようになる予定です。

県立図書館の資料貸出券番号とパスワードがあれば、どなたでもご利用いただけます。ぜひ、ご利用ください。

千葉県立図書館  
Web サイト  
利用案内



パスワード  
発行申込



## 千葉県章の押印について

令和11年予定の新県立図書館開館準備として、所蔵資料へのICタグの貼付を行っています。

貼付が完了した資料の天には、**千葉県章**のスタンプを押印しています。視聴覚資料や厚みの薄い図書資料の場合は、背ラベル付近に貼付しています。

手作業のため、多少のズレやかすれが見られますが、いたずらや汚損ではありませんので安心してご利用ください。



## 〈休館のお知らせ〉

 蔵書点検による休館：2月24日(火)～3月5日(木)

※中央図書館、西部図書館と期間が異なりますので、ご注意ください。

☐ 休館中でも、資料の返却はできます。

☐ 東部図書館正面入口左側、壁沿いにある**ブックポスト**をご利用ください。

千葉県立図書館  
Web サイト  
PC・スマホ



千葉県立図書館  
Web サイト  
携帯電話



千葉県立図書館  
X(旧 Twitter)





## 報告

# 歴史講座「弘法大師信仰と房総」

講師：中川 和明(なかがわ かずあき) 氏 / 千葉県文書館職員

10月9日(木)、千葉県文書館より中川 和明 氏をお迎えして、歴史講座を開催しました。募集定員の30名を上回る多くの方々からお申し込みをいただき、地域の歴史や文化に対する皆様の関心の高さを実感しました。

弘法大師信仰が房総地域にどのように浸透したのか、人々の生活や民俗にどのような影響を与えてきたのかなどについて、多角的な視点から解説をしていただきました。参加者から活発に質問が飛び交う様子も見られ、大変有意義な時間となりました。「地域の歴史を身近に感じられた」「信仰と民俗の結びつきを学ぶ貴重な機会になった」「今後もこのような講座を継続してほしい」など、多くのうれしい感想が寄せられました。



## 読書バリアフリー講座

# 「UD デジタル教科書体の開発を通して 読み手の立場で伝わりやすさを考える」

講師：高田 裕美(たかた ゆみ) 氏 / 株式会社モリサワ 書体デザイナー

11月28日(金)、読書バリアフリー講座を開催しました。

読書バリアフリーとは、視覚障害者やディスレクシア(識字障害)、肢体不自由でページをめくるのが困難な方など、読書に対してバリア(障害)を感じている人のためにつくられた考え方です。「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」(読書バリアフリー法)が令和元年に施行され、千葉県でも令和5年に「読書バリアフリー推進計画」が策定されました。

当日は「UD デジタル教科書体」(この文章で使用している書体)の開発者をお招きし、さまざまな書体を見比べながら、教育現場での書体の重要性等についてご講演いただきました。また、ワークショップではチラシから見やすさ、わかりやすさについて考え、改善点を洗い出していました。参加者からは、「チラシの Before・After は大変わかりやすかったです。After はとても読みやすくなり、驚きました。」「本日から実践できるような講義内容で大変ありがたかったです。」といった声をいただき、主催者の私たちにとっても大変勉強になる講座となりました。



## 報告

## 〈図書館プチ探索〉No.3

「本を開く」をコンセプトに設計された東部図書館。小山のような不思議な形の屋根は、本を開いたときにページがたわむ姿を表現したものなのです♪



本のページがたわんだように見える正面からの外観(上)と、北側から臨む屋根の外観(下)

本で発見!

# 千葉の魅力

図書館ぶらり散歩 (65)

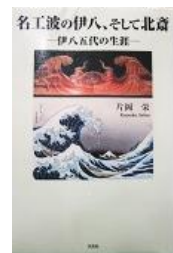
千葉県に関する本や千葉県にゆかりのある人の本を紹介します。千葉に関する本を読んで、千葉の魅力をたくさん発見してください。

※[ ]は、請求記号です。  
千葉県に関する本は、郷土資料コーナーにあります。

『名工波の伊八、そして北斎 伊八五代の生涯』  
片岡栄／著 文芸社 2017年 [C712/2/17]

初代「波の伊八」こと武志伊八郎信由は、1752年生まれ、安房国長狭郡下打墨村(現鴨川市)出身の宮彫大工です。南房総に優れた欄間彫刻を数多く遺し、卓抜した「波」の表現技術から「波を彫らせては天下一」とまで謳われました。

そんな伊八の作品が、葛飾北斎の代表作にして、大波の描写が絶賛される浮世絵『富嶽三十六景 神奈川沖浪裏』に影響を与えたという説があります。直接の証拠はありませんが、この本では数章を割き、両者の作品比較、北斎が房総を訪れた際の足取り、人間関係など色々な面からその可能性を探っています。



『くりり駅でさよならを 白黒ねこと夕暮れの町』  
高橋由太／著 ハーパーコリンズ・ジャパン  
2025年 [C936/714]

大切な人に「さよなら」を言えないまま会えなくなってしまう、哀しみや後悔を抱いたことはありますか?

この本は、心にいろいろな思いを抱えた主人公たちが、路線図に載っていない「くりり駅」に降り立ち、もう会うことのできない人との不思議な体験を通して前を向き、現実の世界へ戻っていくお話です。

5話が収録された短編集形式の作品で、「くりり駅」や「団子屋」が共通の場所として出てきたり、他の話に主人公が再登場したりと、読み進めるうちに物語の世界が深まっていくのが魅力です。



『昭和ディープ街トリップ、335カット』  
20代女性が小学生から続ける探訪と研究』  
明里／著 303BOOKS 2025年 [C2909/114]

歴史がしみ込んだ老舗旅館、細かい装飾が施された看板建築、和洋折衷で可愛い内装の銭湯、地域の人々に愛される純喫茶など……。千葉県内の近代建築史や郷土史などを紹介しているブログ「Deepランド」の運営者が、千葉のレトロスポットを愛のある眼差しで深く掘り下げて記録した本です。電車やバスを乗り継いで訪れ、自分の足で歩いて見たり聞いたりした貴重な情報やこぼれ話は興味をそそられます。

この本をガイドに、身近にあるノスタルジックで〈昭和〉の香りが漂う場所を訪れてみてはいかがでしょうか。



『崖っぶち銚子電鉄なんでもありの生存戦略 めれ煎餅にまずい棒、お化け屋敷電車に映画制作まで!?』  
日本一のエンタメ鉄道を目指して奮闘中!』 竹本勝紀／著 イカロス出版 2019年 [C686/23]

銚子市内を走るローカル鉄道の銚子電鉄は、度重なる経営難を創意工夫で乗り越えてきた路線としても知られています。近年では銚子の新名物「まずい棒」の開発でも話題になりました。

この本ではその「まずい」歴史と、「絶対に諦めない!」を合言葉に奮闘し続ける同社のエンタメ精神や地域愛を紹介しています。巻頭には銚子電鉄に関する「まずい」豆知識や沿線の観光案内もあり、読めばきっと銚子電鉄を応援したくなることでしょう。あなたもぜひ「銚電応援団」の一員となって、本を片手に銚子の旅へ出かけませんか。





# 学校図書館運営研修会

台風一過の6月25日(水)、3階研修室にて学校図書館運営研修会を開催しました。学校司書、司書教諭、学校図書館担当者(国語科教諭など)、学校図書館の運営には欠かせない重要な役割を担う方々にご参加いただきました。

学校図書館は「学校の教育課程の展開に寄与し、「児童又は生徒の健全な教養を育成すること」を目的として設置されています(学校図書館法)。これは読書だけでなく、学習・情報センター機能も果たすべき重要な役割であることを示します。

## —— 学校教育の動向と先進国の学校現場

そこで第1部では、①学校教育の基準である学習指導要領の次期改訂に向けた論点の1つに、「情報活用能力の抜本的な向上」が上げられていること、②日本のデジタル競争力の現状、③デジタル競争力第3位のデンマーク公立学校の学校図書館と公共図書館の取組について、いくつかの資料をもとに情報共有を行いました。

**写真で表現する書評**  
BOOK BENTO ブック ベントウ

日本の弁当箱から着想を得た書評の方法。構図の中心に表紙見せの本を置き、周囲には本の内容に関連するものを配置して撮影する。その芸術的美しさも制作の重要な視点となる。最後に、配置した各アイテムの意味を説明した文章を添付する。

出典：デンマーク国立読書の知識センター、「BOOK BENTOS」、p.8  
[https://videnomlaesning.dk/media/5171/31\\_book-bentos.pdf](https://videnomlaesning.dk/media/5171/31_book-bentos.pdf)

「情報教育の場」として、学校図書館が担っている重要な役割とその可能性について再認識するとともに、学校図書館だからこそ実践できる教育活動のヒントを得ることができました。

## —— 講話「学校図書館における著作権」



講師 有山 裕美子 氏

学校法人 松翠学園 滋賀文教短期大学 准教授

第2部「著作権」講話の冒頭で、有山先生から、「著作権は怖い」「不安だから画像は使いたくない」と思っている人はいませんか？ ルールを正しく理解して、適切に利用すれば怖がることはありません。今日、正しく理解して、著作物を適切に使いましょう。——という心強いメッセージがありました。

「著作権とは何か」から始まり、「事前質問への具体的な回答」まで。充実した資料と丁寧な解説をたっぷりいただくことができました。自校の現状や日常業務の課題を想起しながら、真剣なまなざしで講話に聞き入る参加者の姿も印象的でした。

一番の関心事である改正著作権法第35条(学校その他の教育機関における複製等)【学校(略)において教育を担当する者及び授業を受ける者は、その授業の過程における利用に供することを目的とする場合には、その必要と認められる限度において、公表された著作物を複製(略)することができる。ただし、(略)著作権者の利益を不当に害することとなる場合は、この限りでない。】の講話では、「コピーだけでなく黒板に書き写すことも複製である」「副教材の大量コピーは厳禁である」ことなど、実務的な内容についても多くの学びがありました。研修終了後には、「講話内容を学校の職員に周知しなければ!」「有山先生の話をもっと長く聞きたかった」などの感想が上がり、大変有意義な研修となりました。

### 有山 裕美子 氏 (ありやま ゆみこ)

小・中・高等学校の教諭、司書教諭、学校司書、図書館司書、大学教員などの豊かな経験を持ち、現場に寄り添った助言や指導に定評がある。多くの講演や執筆依頼を精力的にこなす。



### 参考資料

『みんなで学ぼう学校教育と著作権 著作権の基本から指導まで』  
森田 盛行/著 【中央：37519/57】  
『これからの図書館情報学：人工知能と共生する図書館』  
山本 順一/編 【中央：010/47】

### 編集長の独り言

図書館や図書館の蔵書が多い街ほど健康長寿の傾向という、慶応大と京都大の統計調査の結果が発表されました。また、個人の読書習慣が死亡率や認知症リスクの低下と関連するという研究成果もあるそうです。皆さんも図書館を使いこなして健康長寿を目指しましょう。



図書館だより「知識は旅をする」  
2026年2月発行 第85号

編集・発行：千葉県立東部図書館  
〒289-2521 千葉県旭市ハ349  
TEL：0479-62-7070/FAX：0479-62-7466